

■ 今年で10周年！企画力を競って起業・事業化を目指せ！ ■

関西大学ビジネスプラン・コンペティション 「KUBIC2015」を開催

～ 全国の高校生・大学生などを対象に新事業のビジネスプランを募集中 ～

関西大学商学部では、全国の高校生・大学生などを対象としたビジネスプラン・コンペティション「KUBIC2015 ～「想像」から「創造」へ 10周年のKUBIC～」を開催します。

KUBIC（キュービック：Kansai University Biz Plan Competition）は、関西大学の教育理念「学の実化」および商学部の教育理念「品格ある柔軟なビジネスリーダーの育成」という理念を実現するために、商学部創設100周年記念事業として2006年に始まり、今年で10周年を迎えます。これからの社会でますます必要とされるアントレプレナーシップ（企業家精神と行動）の醸成を鑑み、その実践的教育の場として、ビジネスプランの創造を全国に呼びかけ募集しています。

応募資格は、「高校・高等専門学校」の部と「大学・大学院・一般」の2部門です。応募部門は、自由な発想で考えた独自のビジネスプラン「自由応募部門」と、協賛企業が提示したテーマについてのビジネスプラン「テーマ部門」の2部門で、6月13日（土）まで募集を行っています。

本学や他大学の教員をはじめ、大手企業やコンサルタント会社、ベンチャー企業、行政機関の担当者が審査員を務め、独創性や社会性、収益性などを基準に、「ダブルブラインド方式」を用いた複数の審査員による審査を行います。1次・2次の書類審査を通過したビジネスプランは、10月3日（土）に千里山キャンパスで開催される「本選会」にて公開プレゼンテーションを行い、優勝・準優勝および各賞を決定します。学外からの審査員の招聘、審査基準の公開、公平性の高い審査方式により、真に優れたビジネスプランを表彰します。

ビジネスプランの応募総数は、一昨年が1,340件、昨年が1,593件に上ります。また、大手企業を中心に9社の協賛をいただくなど、大学の一学部が起業家教育を掲げて高校生や大学生を支援する全国規模のビジネスプラン・コンペティションを10年もの長きにわたり継続している例は珍しく、全国でも有数のコンペティションに成長しました。

また、このコンペティションの広報・企画といった運営自体についても、「学生の力」の発揮をスローガンに、本学商学部の学生が担っていることも大きな特徴です。毎年、約20人～30人の商学部生で構成されたKUBIC学生実行委員会が結成され、中心的役割を果たしています。過去の実行委員やコンペティション入賞者の中には、卒業後に起業したり社内ベンチャーを立ち上げたりと、KUBICでの経験を十分に生かして各方面で活躍する姿がみられます。

本学商学部では、KUBICを通じて、新しいビジネスを創造してリーダーシップを発揮できる次世代の育成や企業家精神を啓発していきたいと考えています。KUBICの詳細は次ページ以降のとおりで、過去の受賞プランや本選会の様子はウェブサイト（<http://www.kubic-kandai.com/>）でご覧いただけます。

以上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■関西大学ビジネスプラン・コンペティション「KUBIC2015」開催概要

主 催 関西大学商学部

協 賛 江崎グリコ株式会社、グンゼ株式会社、株式会社日本経営、ハウス食品グループ本社株式会社、
原田産業株式会社、富士ゼロックス株式会社、富士通株式会社、株式会社プロアシスト、夢の街
創造委員会株式会社

後 援 経済産業省近畿経済産業局、吹田市、吹田商工会議所、株式会社中央経済社、公益社団法人日本
マーケティング協会

【応募要領】

応募資格 **【高校・高等専門学校の一部】** 全国の高等学校・高等専門学校に在籍する高校生・高等専門学校生
【大学・大学院・一般の一部】 全国の大学・大学院に在籍する大学生・大学院生、その他一般の方

※応募は個人・グループ（8人以内）を問いません。

※1人または1グループで複数のビジネスプランを応募することも可能です。

応募部門 **【テーマ部門】** 協賛企業が提示したテーマについてのビジネスプランを募集します。
(テーマは別項をご参照ください)

【自由応募部門】 自由な発想で考えた独自のビジネスプランを募集します。

応募方法 所定の応募用紙（A4両面1枚）と応募者フェースシート（A4片面1枚）に必要事項を記入
のうえ、下記応募先に郵送または持参（17時まで）してください。応募用紙は下記事務局で
配布するほか、ホームページからダウンロードも可能です。

KUBICウェブサイト：<http://www.kubic-kandai.com/>

応募締切 6月13日（土）（消印有効）

応募先 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学 経商オフィス KUBIC 事務局

【審査方法】

第1次審査 応募用紙に基づき、ダブルブラインド方式により複数の審査員による書類審査を行います。

第2次審査 第1次審査を通過したプランについて、本選会の審査員がダブルブラインド方式で書類審
査と合議を行い、本選会出場プランをノミネートします。

企業賞審査 協賛企業のテーマに応募のあったすべてのプランについて、各協賛企業において独自に審
査が行われます。

審査結果 以上の審査を通過したプランについては、8月中旬頃に当該プランの応募者（代表者）に
通知します。また本選会出場プラン及び企業賞受賞プランについては、9月中旬頃に
KUBICのホームページで発表します。

本選会審査 10月3日（土）関西大学にて公開プレゼンテーションによる審査会を開催して、各部の優
勝、準優勝等を決定します。

審査基準 (1) 独創性・優位性 (2) 必要性・社会性 (3) 実現可能性・収益性
(4) 正確性・綿密性 (5) プレゼンテーション（本選会のみ）の5項目。
(但し企業賞については、各協賛企業の独自の審査基準により選考されます。)

審査員 第1次審査は関西大学商学部教員約20名が担当。企業賞は各協賛企業の審査員が独自に
審査を担当。

第2次審査及び本選会の審査員は、次の通り。

審査委員長・・・高屋 定美（関西大学商学部教授）

他に5人程度の審査員を予定（募集締切後にホームページにて発表）

（大手民間企業代表、企業活動・経営戦略等を専門とするコンサルタントや大学教員、
ベンチャー企業家、経済産業省関係者など）

【副賞・特典】

高校・高等専門学校の一部 優勝 10 万円 準優勝 5 万円
大学・大学院・一般の一部 優勝 20 万円 準優勝 10 万円
その他 優秀賞、学校賞、企業賞、特別賞・アイデア賞等

- ※優勝・準優勝の方にはそれぞれメダルを授与します。
- ※本選会出場者全員に賞金もしくは賞品を授与します。
- ※各企業のテーマ部門の最優秀プランには、企業賞が授与されます。
- ※本選会ご来場者には、イベントで景品がプレゼントされます。

【注意事項】

- ※応募者は、応募時点で下記の事項に合意されたものとします。
 - ・今回の応募プランは応募者本人（もしくはグループ）の企画プランであり、他の同種のコンテスト等に応募していないことを原則とします。
 - ・自由応募部門の応募プランに関する知的財産権は、原則として応募者に帰属します。知的財産権については、応募者が必要に応じてあらかじめ法的手続きを行うものとします。
 - ・テーマ部門の応募プランは協賛企業が事業化する可能性があります。テーマ部門の応募プランに関する知的財産権は、応募者は応募時点で主催者（協賛企業を含む）への譲渡に合意したものとします。事業化に際して、応募者にその都度了解を得ることはありませんのでご了承ください。
 - ・応募プランの公表や二次的使用の権利は、主催者である関西大学商学部にあります。応募者は、応募作品につき、著作者人格権を行使しないものとします。
 - ・個人情報保護の関係上、応募用紙に記入された内容は、関西大学ビジネスプラン・コンペティションに関連する目的以外で用いることはありません。
 - ・応募書類は返却いたしません。また、審査内容についてのお問い合わせには応じかねます。

【KUBICに関するお問合せ】

関西大学商学部 KUBIC事務局<9:00~17:00（土・日・祝日は除く）>
Tel:06-6368-1147（代） E-mail: k-keshosha@ml.kandai.jp
KUBICウェブサイト：<http://www.kubic-kandai.com/>

■関西大学商学部について

関西大学商学部は1906年に商都大阪の要請に応じて、大学部および専門部の中に商業学科として設置されたのに始まり、いわば関西では最古の商学部です。1922年、大学令による関西大学が誕生するとともに商学部となり、ついで1924年3月、商学部を経済学科を増設するに至りました。

時代の進展に伴い、同年8月に商学部を経済学部と改称したものの、学部内に商業学科として継承され、1948年新制大学への転換とともに、商学部として再出発しました。

現在、商学部は、流通、ファイナンス、国際ビジネス、マネジメントおよび会計専修の5部門で構成されています。「品格ある柔軟なビジネスリーダーの育成」を理念として掲げ、「会計と英語に強いビジネスリーダー」を育成するため、5つの分野の基礎を低年次で学び、上位年次では専門的な学習に集中するというカリキュラムを導入しています。その中でも、より実践的に、より高度に商学を学ぶため、ALSP（会計連携特別プログラム）、BLSP（ビジネスリーダー特別プログラム）、BestA（海外ビジネス英語プログラム）、DSIプログラム（プロセスイノベーター育成プログラムの開発）、CORES（ビジネスプラン教育プログラム）といった本学独自のプログラムを展開しています。教室で学ぶだけでなく、海外を含むビジネスの現場に出かけて行き、実践的に学ぶことで、激動する経済環境の中であって経営に対する柔軟な思考力や広い視野、鋭い洞察力に加えて、企業倫理と社会的責任に対する深い認識をも併せ持つ人材を育成しています。

関西大学商学部ウェブサイト：http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_com/index.html

■「テーマ部門」における協賛各企業のテーマ一覧

協賛企業	テーマ
江崎グリコ	シニア（60才以上）をターゲットとした錠剤のサプリメントに代わる、栄養補助食品の開発と事業展開
	チョコレートの新製品開発と新しい流通チャネル開発
	小学生の健康を考えた、新しい食品の開発と事業展開
	働く主婦をターゲットとした、新しいデザートの開発と事業展開
	シニア（60才以上）をターゲットとした新しい食品の開発と事業展開
ゲンゼ	ゲンゼが多角化して保有している事業をいくつか組み合わせて、新しいビジネスを創出する
	高齢者の在宅介護が増える中で必要とされる製品・サービスを提案する（ソリューション型提案）
	ゲンゼの健康関連事業のブランド戦略を考える
	ゲンゼの直営店舗（期間限定）の運営について企画立案する
	新しいルーム用レッグウェアの開発と事業拡大プラン
日本経営	過疎地域医療を守るための地域活性化プラン
	病院とシナジー（相乗効果）が生まれる事業の展開
	経営コンサルティング企業と大学との産学連携方法
	医療・介護の情報を適切に患者（利用者）が取捨選択できる未来の持続モデル
	日本の医療介護が海外進出する可能性をもたらすビジネスプラン
ハウス食品	新しいタイプのカレー事業の提案
	ハウスとんがりコーンの新たな挑戦
	ハウス食品のデザート事業拡大プラン
	買い物弱者をターゲットとした加工食品に関する製品・サービスの提案
	シニア（60歳以上）の単身世帯や夫婦2人世帯に向けた食ビジネスの提案
原田産業	五輪・W杯等の世界イベントに向けて原田産業が挑戦すべきビジネス
	衛生面上での問題、危険な作業現場、灼熱の環境等、依然として過酷なアジアの労働環境を改善するビジネスプラン
	日本の総合商社として、海外で活躍する日系企業に提供できる商品・サービスの提案
	小さな子どもの身の安全を守るビジネスプラン
富士ゼロックス	一人1台の情報端末が普及した社会における、紙文書の新たな価値の創造
	ICTを利用した新しいワークスタイルを支えるオフィスとは
	災害に備えるこれからのビジネスオフィスの在り方・取組み
	「強い」「やさしい」「おもしろい」会社*となるためには？
富士通	くらし×IT ～未来のライフスタイル提案～
	関西×インターネット ～関西発！グローバルビジネス～
	大学×スマホ ～新しい学びのスタイルとは？～
	まちなかキャンパス ～街が大学キャンパスになったら？～
プロアシスト	プロアシストのeラーニング商品「PTラーニング」の知名度を上げる戦術
	大学および研究機関向けに保有する製品・技術を売り込む営業戦略
	プロアシストの脳波センサを使った、ヘルスケアまたはそれ以外の分野でのビジネスプラン
	これからの健康管理サービスのビジネスモデルと事業展開
	関西で開催される2021年ワールドマスターズゲームの盛り上げ方とその後継続できる関西の活性化
夢の街創造委員会	「出前館」のようにネットを使ってリアルの商売を盛り上げるビジネス
	地域密着の個人店を応援するビジネス
	今後急増する高齢者の役に立つネットビジネス

※過去のテーマや受賞プランは、KUBICウェブサイト：<http://www.kubic-kandai.com/>でご覧いただけます。